



今井 香澄



小田 耕平



齋藤 一稀



鈴木 楓翔



竹内 光



田代 順子



大崎晃雅
(産業政策課)



今野瑛梨香
(秘書広報課)

メンター・協力

竹尾友宏、芦刈純奈、宮田直人、山下真弘、牧野志保
大崎晃雅、今野瑛梨香、原口達也、市川晶康

政策＝理想の未来像

※蒲郡がどんな未来になっていると良い？

産業が盛んで人と人のつながりが巡る持続可能なまち

現状分析

※各種客観的データ

①関係する政策や施策

蒲郡市第5次総合計画
・蒲郡市都市計画マスタープラン
・蒲郡市ヘルスケア計画
・蒲郡市食育推進計画
・蒲郡市農業振興地域推進計画

②関係する数量的なデータ

漁獲量 漁業種類別取扱数量
産業廃棄率 空き家率 未開発地割合
障害者人口割合 産業別生産量
学生・就業人口の流入人口／流出口

③影響しそうな社会的要素

就業人口の減少 人口減少 高齢化の進行
戦争やコロナによる海外取引 物価上昇
新興国の成長 SDGs 共働き家庭の増加
テレワークなど多様な働き方
ハラスメントや長時間労働への働き方改革
AIによるデジタル技術の向上 SNSの普及

④関係する部署・団体

・蒲郡市役所 産業振興部 建設部 都市開発部
市民生活部 健康福祉課
・蒲郡商工会議所 ・テックビジネス開発委員会
・三河繊維工業協同組合 ・三谷水産高校
・漁業協同組合 ・蒲郡信用金庫
・中部繊維ロープ工業協同組合
・三谷水産高校 ・海洋中学校
・蒲郡農業協同組合

解決すべき課題

※理想の未来像を目指すときに、蒲郡市にはどんな課題がある？

高齢者と若者が関わる機会が少ない

地元産業を知らない

蒲郡で働きたい人が少ない 応募数＜募集人数

3

役に立つ強み

※若者議員や地域、企業・団体が持っている、課題解決に役立つ強みは？

地域性が良い

①ひと:

人柄が良く、ボランティア活動にも協力したいと思ってもらえる人が多い。

②土地:

自然が豊かで、それに纏わる観光地、施設がたくさんある。

交通の便が良く、市外から観光客が来やすい。

素敵な公園があり、住みやすい環境にある。

③文化:

伝統的なお祭りや文化が多い。

地元産業のポテンシャルが高い

①産業構造:

自然豊かであることから第一次産業を始めに、ざっくばらんな産業がある。

②生産量・販売量:

生産量や魚食人口(=消費量)も気づいていなかったが、それなりにいる。

③後継者:

後継者は確定ではないものの、候補者はいる事が多い。

4

施策＝アクション

※どんなアクションをすることで、理想の未来像を目指す？

世代を越えて、地元産業の魅力を伝える。

5

蒲郡にどんな効果がある？

- ・元気な高齢者が増え、活気があふれる
- ・地産地消につながる
- ・市内から市外へ発信する人が増える

6

参加者にどんな効果がある？

- ・若者もスマホだけでは学べない文化や歴史を知ることができる。
- ・蒲郡の魅力ある産業を知ること、蒲郡に誇りが持てる。

7

事業の概要

事業タイトル： ガマワークフェス

【事業概要】

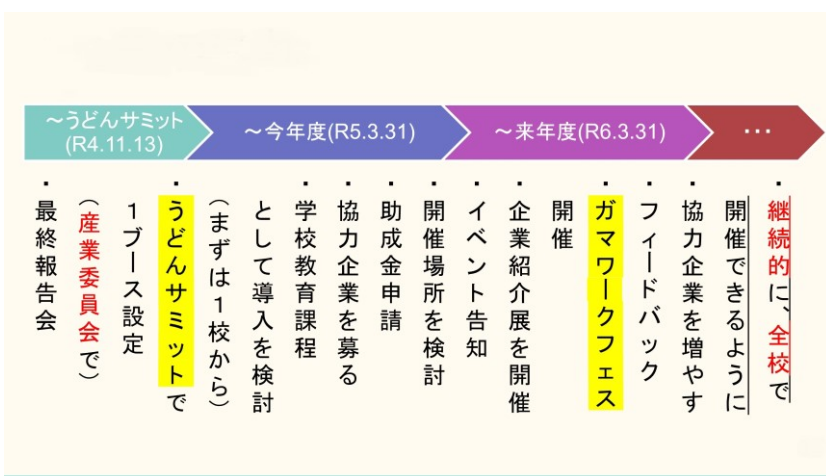
- ・ 企業×教育機関×市民（高齢者・若者）で地元産業を知るフェスイベントを開催。
- ・ 具体的には、知見者である高齢者や地元企業より、小中学生が地元産業を学びながら、地元産業に関する商品やサービスを提供するお店を出店。そして、市民や市外の人がフェスへ足を運び、お店で購入、体験をし、産業の理解を深めるようなイベントを年に数回程度開催。
- ・ 決済通貨はフェスのみで使える限定通貨を用いる事により、市内でのデジタル通貨使用促進を図る。
- ・ 運営母体はボランティア団体として、企業や教育機関、高校生、大学生に参加者を募る事を想定。

【事業による効果】

- ・ 蒲郡市民が全体として交流する機会が増え、1人1人の視野が広がり、新しいプロジェクトが生まれやすい環境が作られる。
- ・ 小中学生が主体的に蒲郡の企業を知り、興味を持ち、蒲郡に魅力を感じるようになる。
- ・ フェスというイベントに参加しやすい環境を作り出す事で、蒲郡でいきいきと活動する人が増える。
- ・ 蒲郡に魅力を感じた人が、蒲郡で働くようになる。
- ・ 教育環境として優れている市と認知されて、蒲郡に住みたい人も増える可能性がある。

【今後の流れ】

- ・ 今後の流れは下記の通り。



該当する
SDGs

